

JALの安全安心の取り組み

JAL Times6月号では、皆様に安心してご渡航頂くためのサービス、ならびに空港・機内での感染拡大防止対策の最新状況についてご紹介いたします。ぜひ安心して快適なJAL便のご利用をご検討ください。

JALの「安全・安心の取り組み」が アジアで初めて世界最高水準の評価をダブル受賞

- ・英国の航空会社評価機関である SKYTRAX の「COVID-19 Airline Safety Rating」で最高評価の 5 スターを獲得。
- ・米国の非営利団体APEXの監査「Health Safety Powered by SimpliFlying Audit」で最高評価の「Diamond」を獲得。



評価ポイント	取り組み
①衛生・清潔性	・【空港】抗ウイルス・抗菌のコーティングを順次実施 ・【機内】航行中の機内の化粧室清掃の強化および清掃時の客室乗務員の防護服着用、夜間の消毒、こまめな清掃の実施に加え、清掃効果のモニタリング・検証など清掃体制の強化を開始
②非接触・自動化	・【空港】自動チェックイン機や自動手荷物預け機の導入 ・【空港】自動チェックイン機・自動手荷物預け機へのタッチレスセンサ導入や遠隔操作ロボットの実証実験を行うなど最新のテクノロジーを積極的に活用
③航空旅行のサポート	・PCR検査機関との提携(国内線) ・JALコロナカバー(国際線)

「JALコロナカバー」の対象期間を9月末まで延長します。

- ・JALはAllianz Travelと提携し、JAL国際線をご利用のすべてのお客さまに安全・安心な旅をお届けできるよう、**2021年9月30日(木)(ご出発分)まで期間を延長し**、サポートサービス「JALコロナカバー」を無償で提供いたします。
- ・2021年7月1日(木)以降のご出発分から、医師や保健局から濃厚接触者と判定された場合や、発熱などの疑わしい症状があり検査や隔離を要請された場合の、**陽性判定前の隔離・宿泊費用がサポート対象に追加**されます。

ポイント
1

24時間無休の医療・宿泊手配に関するご相談窓口をご用意(日本語対応)

ポイント
2

**渡航先での新型コロナウイルス感染症陽性判定時にかかる
医療費・検査費・隔離費用をサポート**

ポイント
3

NEW

**医師や保健局から濃厚接触者と判定された場合や、発熱などの疑わしい
症状があり検査や隔離を要請された場合の、陽性判定前の隔離・宿泊費用をサポート(*1)**

ポイント
4

上記のサービスは無償かつ事前申し込み不要でご提供いたします。

(*1)JAL国際線第一区間が2021年7月1日以降の場合

対象期間	2020年12月23日～ 2021年9月30日ご搭乗分
対象便	JAL国際線 (JAL便名JAL運航に限ります)
有効期間	JAL国際線のご搭乗日から31日間有効 *ただしお客さまの居住国内の支援はございませんので、居住国に戻った時点で失効となります。

※補償を受けるには事前連絡が必要です。新型コロナウイルス感染が疑われる場合は必ずJALコロナカバーサポートにご相談ください。(お客さまご自身で費用をお支払になった場合、後日これらの費用を申請いただくことはできません。)

サービス詳細はJAL Webサイトをご確認ください。www.jal.co.jp/jp/ja/inter/jalcoronacover/index.html

上記の情報は、2021年6月1日時点の情報に基づきます。最新の情報はJAL Webサイトでご確認ください。

本邦航空会社初、 客室内の抗ウイルス・抗菌コーティングを実施します

今回使用するコーティング剤は、抗菌製品技術協議会（SIAA）の定める抗ウイルス・抗菌性能と、安全性が確認されています。コーティング済みの機体には、「SIAA」の認証マークを機体入口付近に表示し、コーティングが実施済みであることをお知らせします。

このコーティングは2021年4月より開始し、7月中を目途に完了予定です。（*1）



1. 客室内の抗ウイルス・抗菌コーティング

客室内に実施するコーティングは、触媒の作用によりその効果が長期間持続するもので、化粧室、座席やひじ掛け、収納棚、壁面といった、お客さまが直接手を触れる箇所を中心に実施します。

2. 空港の抗ウイルス・抗菌コーティングの拡大

JALでは2020年11月より空港のチェックインカウンター、自動手荷物預け機、自動チェックイン機、ベビーカー、車いす、保安検査場のトレイ、搭乗口カウンター、ステップ車等に抗ウイルス・抗菌コーティングを開始し、全国の空港に順次拡大しています（*2）（*3）。

（*1）日本エアコミューター（JAC）と北海道エアシステム（HAC）は年内に完了予定。

（*2）4月23日時点で、札幌（新千歳）・大阪（伊丹）・東京（羽田・成田）・福岡・沖縄（那覇）空港で加工を実施しており、順次その他の空港に拡大。

（*3）JALが保有・管理する空港の設備・備品が対象となります。ラウンジは国内空港における国際線ファーストクラスラウンジ、サクララウンジ、国内線ダイヤモンドプレミアラウンジ、サクララウンジが対象となります。6月に開始し、7月完了予定。

チェックイン時のタッチパネル非接触化を実施

JALは現在、「JAL SMART AIRPORT（*1）」の取り組みとしてすべてのお客さまに安全・安心な空の旅をお届けするよう、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを実施しています。

（*1）ITの活用によるきめ細やかなヒューマンサービス、最新技術の活用による効率的で快適なセルフサービス、衛生・清潔への取り組みにより提供するJALの新しい空港です。



空港内の自動チェックイン機、自動手荷物預け機にタッチレスセンサ（*2）を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、ご搭乗手続きや手荷物タグの発行（*3）をしていただけます。タッチレスセンサから出る赤外線（*4）により、お客さまは画面に触れることなく機器を操作することができます（*5）。（羽田・新千歳・伊丹・福岡・沖縄空港に導入済み）

（*2）日本エアロスペース株式会社の製品 （*3）自動チェックイン機での手荷物タグの発行は現在羽田空港のみで実施いただけます。

（*4）タッチレスセンサから出る赤外線は一般家庭用機器で 사용되는ものと同等です。

（*5）画面からの距離は自動チェックイン機：2.5cm、自動手荷物預け機：4cmで設定。

上記の情報は、2021年6月1日時点の情報に基づきます。最新の情報はJAL Webサイトでご確認ください。